



JFEグループ

2007年度決算および

2008年度業績見通し

2008年4月24日



目 次

- 2007年度決算
 - JFEスチール
 - JFEエンジニアリング
 - JFEホールディングス
- 2008年度業績見通し
- 第3次中期経営計画に向けて
 - スチール
 - エンジニアリング
 - 造船
 - 総括

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、提示された予測等は説明会の時点で入手された情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されまことはお控え下さいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。



JFEグループ

2007年度 連結決算



2007年度決算

JFE

対前回(2/4)公表値

(単位:億円)

	07年度見通し (2/4)		07年度実績		年間
	上期	年間	上期	年間	
売上高	16,693	35,100	16,693	35,398	298
営業利益	2,538	5,100	2,538	5,105	5
営業外損益	69	▲ 100	69	▲ 75	25
経常利益	2,608	5,000	2,608	5,029	29
特別損益	▲ 1	▲ 500	▲ 1	▲ 557	▲ 57
税前提利益	2,607	4,500	2,607	4,472	▲ 28
税・少持	▲ 998	▲ 1,900	▲ 998	▲ 1,853	47
当期利益	1,608	2,600	1,608	2,618	18
ROS		14.2%		14.2%	0.0%



2007年度決算

JFE

対前年実績

※ 減価償却制度変更影響(▲373億円)を含む

(単位:億円)

	06年度実績		07年度実績		増減 年間
	上期	年間	上期	年間	
売上高	14,866	32,604	16,693	35,398	2,794
営業利益	2,180	5,039	2,538	5,105	66
営業外損益	58	95	69	▲75	▲170
経常利益	2,238	5,135	2,608	※ 5,029	▲106
特別損益	▲49	▲48	▲1	▲557	▲509
税前利益	2,188	5,086	2,607	4,472	▲614
税・少持	▲843	▲2,089	▲998	▲1,853	236
当期利益	1,345	2,996	1,608	2,618	▲378

ROS

15.8%

14.2%

▲1.6%

減価償却制度変更影響を除く

15.3%



2007年度決算～セグメント別～

JFE

対前回(2/4)公表値

(単位:億円)

	07年度見通し(2/4)		07年度実績		年間
	上期	年間	上期	年間	
鉄鋼事業	15,443	31,700	15,443	32,033	333
エンジニアリング事業	1,096	3,100	1,096	3,142	42
その他	153	300	153	222	▲ 78
売上高	16,693	35,100	16,693	35,398	297
鉄鋼事業	2,643	5,000	2,643	5,089	89
エンジニアリング事業	▲ 48	▲ 40	▲ 48	▲ 110	▲ 70
その他	12	40	12	50	10
経常利益	2,608	5,000	2,608	5,029	29



2007年度決算～セグメント別～

JFE

対前年実績

(単位:億円)

	06年度実績		07年度実績		増 減 年間
	上期	年間	上期	年間	
鉄 鋼 事 業	13,709	29,251	15,443	32,033	2,782
エンジニアリング事業	987	2,921	1,096	3,142	221
そ の 他	169	432	153	222	▲ 210
売 上 高	14,866	32,604	16,693	35,398	2,794
鉄 鋼 事 業	2,229	5,039	2,643	5,089	50
エンジニアリング事業	3	58	▲ 48	▲ 110	▲ 168
そ の 他	6	37	12	50	13
経 常 利 益	2,238	5,135	2,608	5,029	▲ 106



JFEスチール

2007年度 連結決算



07年度決算

JFE

単位: 億円

JFEスチール	06年度 実績	07年度前回(2/4)			07年度実績			年度差異 06→07	年度差異 前回→今回
		上期	下期		上期	下期			
単体	(20,555)	(11,131)	(11,269)	(22,400)	(11,131)	(11,631)	(22,762)	(2,207)	(362)
売上高	29,251	15,443	16,257	31,700	15,443	16,590	32,033	2,782	333
単体	(3,888)	(2,093)	(2,007)	(4,100)	(2,093)	(1,987)	(4,080)	(192)	(▲20)
営業利益	4,999	2,622	2,528	5,150	2,622	2,595	5,217	218	67
単体	(4,075)	(2,176)	(1,824)	(4,000)	(2,176)	(1,838)	(4,014)	(▲61)	(14)
経常利益	5,039	2,643	2,357	5,000	2,643	2,446	5,089	50	89
ROS	17.2%	17.1%	14.5%	15.8%	17.1%	14.7%	15.9%	-1.3%	0.1%

為替円高影響あるも、数量増やグループ会社好転等により、
経常利益は対前回で、単体+14億円、連結+89億円改善



06年度⇒07年度 連結経常利益 +50億円内訳

JFE

単位: 億円

JFEスチール	06年度 実績	07年度前回(2/4)			07年度実績			年度差異 06→07	年度差異 前回→今回
		上期	下期		上期	下期			
単体	(4,075)	(2,176)	(1,824)	(4,000)	(2,176)	(1,838)	(4,014)	(▲61)	(14)
経常利益	5,039	2,643	2,357	5,000	2,643	2,446	5,089	50	89

■ コスト削減 + 230

⇒ 変動費+300、減価償却費▲70

■ 為替レート ▲ 210

⇒ フロー▲10、換算差等▲200

■ 原料関連 ▲1,000

⇒ 金属原料価格・フレート上昇

■ 数量・構成・価格 +1,340

⇒ 高級鋼増、販売価格アップ等

■ 償却制度変更 ▲ 330

■ その他 + 20

合計 + 50



(参考) 07年度上期⇒下期 連結経常利益 ▲197億円内訳

JFE

単位:億円

JFEスチール	06年度 実績	07年度前回(2/4)			07年度実績			年度差異 06→07	上下差異 今回上→下
		上期	下期		上期	下期			
単体	(4,075)	(2,176)	(1,824)	(4,000)	(2,176)	(1,838)	(4,014)	(▲61)	(▲338)
経常利益	5,039	2,643	2,357	5,000	2,643	2,446	5,089	50	▲197

■ コスト削減

▲ 70



減価償却費▲70

■ 為替レート

▲ 160



フロー▲30、換算差等▲130

■ 原料関連

▲ 410



フレート・金属原料価格上昇

■ 数量・構成・価格

+ 410



数量増・販売価格アップ等

■ その他

+ 33

合計

▲ 197



JFE

(参考) 生産・出荷状況

■ 単体粗鋼/出荷

(単位: 万t)

	06年度 実績	07上期 実績	07下期		07下期 実績	07年度 実績	06→07 差異
			第3 四半期	第4 四半期			
			粗鋼生産	2,904			
鋼材出荷	2,643	1,362	687	753	1,440	2,802	159

平均単価	76.0	79.7	79.1	78.5	78.7	79.2	3.2
------	------	------	------	------	------	------	-----

(千円/t)

■ 連結粗鋼

(単位: 万t)

粗鋼生産	3,283	1,690	867	870	1,737	3,427	144
------	-------	-------	-----	-----	-------	-------	-----



JFEエンジニアリング

2007年度 連結決算



2007年度決算

JFE

対前回(2/4)公表値

(億円)

	07年度(前回見通し)			07年度実績			差異		
	上期	下期	年間	上期	下期	年間	上期	下期	年間
受注高	1,358	1,742	3,100	1,358	1,544	2,902	0	▲ 198	▲ 198
売上高	1,096	2,004	3,100	1,096	2,046	3,142	0	42	42
営業利益	▲ 106	▲ 4	▲ 110	▲ 106	▲ 65	▲ 171	0	▲ 61	▲ 61
経常利益	▲ 48	8	▲ 40	▲ 48	▲ 62	▲ 110	0	▲ 70	▲ 70

【主な要因】

- 試運転を開始した一部新規分野プロジェクトにおける、初動コストの繰り入れ ▲ 40
- 09年以降完工となる長期プロジェクトについて、直近の物価上昇リスクを追加織込 ▲ 10
- 請負金額増額交渉の長期化に伴うリスクの織込 他 ▲ 11



2007年度決算

JFE

対前年実績

(億円)

	06年度実績			07年度実績			差異		
	上期	下期	年間	上期	下期	年間	上期	下期	年間
受注高	1,326	1,425	2,751	1,358	1,544	2,902	32	119	151
売上高	987	1,934	2,921	1,096	2,046	3,142	109	112	221
営業利益	▲ 35	16	▲ 19	▲ 106	▲ 65	▲ 171	▲ 71	▲ 81	▲ 152
経常利益	3	55	58	▲ 48	▲ 62	▲ 110	▲ 51	▲ 117	▲ 168

【主な要因】

資機材費ならびに工事費が高騰したこと、また一部の新規分野プロジェクトについて追加コストが発生したことから、06年度比大幅に悪化した。



JFEホールディングス 2007年度 連結決算



2007年度決算

JFE

※ 減価償却制度変更影響(▲373億円)を含む
(単位:億円)

	06年度実績		07年度実績		増減 年間
	上期	年間	上期	年間	
売上高	14,866	32,604	16,693	35,398	2,794
営業利益	2,180	5,039	2,538	5,105	66
営業外損益	58	95	69	▲76	▲171
経常利益	2,238	5,135	2,608	※ 5,029	▲106
特別損益	▲49	▲48	▲1	▲557	▲509
税前利益	2,188	5,086	2,607	4,472	▲614
税・少持	▲843	▲2,089	▲998	▲1,853	236
当期利益	1,345	2,996	1,608	2,618	▲378

ROS

15.8%

14.2%

▲1.6%

減価償却制度変更影響を除く

15.3%



2007年度 特別損益と当期損益

(単位:億円)

	上期	下期	年度
経常利益	2,608	2,421	5,029
特別損益	▲ 1	▲ 556	▲ 557
■ 資産処分損益	13	55	68
■ 訴訟損失引当金繰入額	▲ 14	▲ 28	▲ 42
■ 特定事業損失引当金繰入額(※) 等		▲ 583	▲ 583
税引前当期利益	2,607	1,865	4,472
税金費用・少数株主損益	▲ 998	▲ 855	▲ 1,853
当期純利益	1,608	1,010	2,618

※ 当社子会社が建設、納入し、長期の運転・保守契約を締結した一部特定の廃棄物処理施設において、契約条件、運営コスト等から、契約期間を通じて将来損失の発生が見込まれることとなった等により、翌事業年度以降の損失発生見込額 513億円を特別損失に計上。



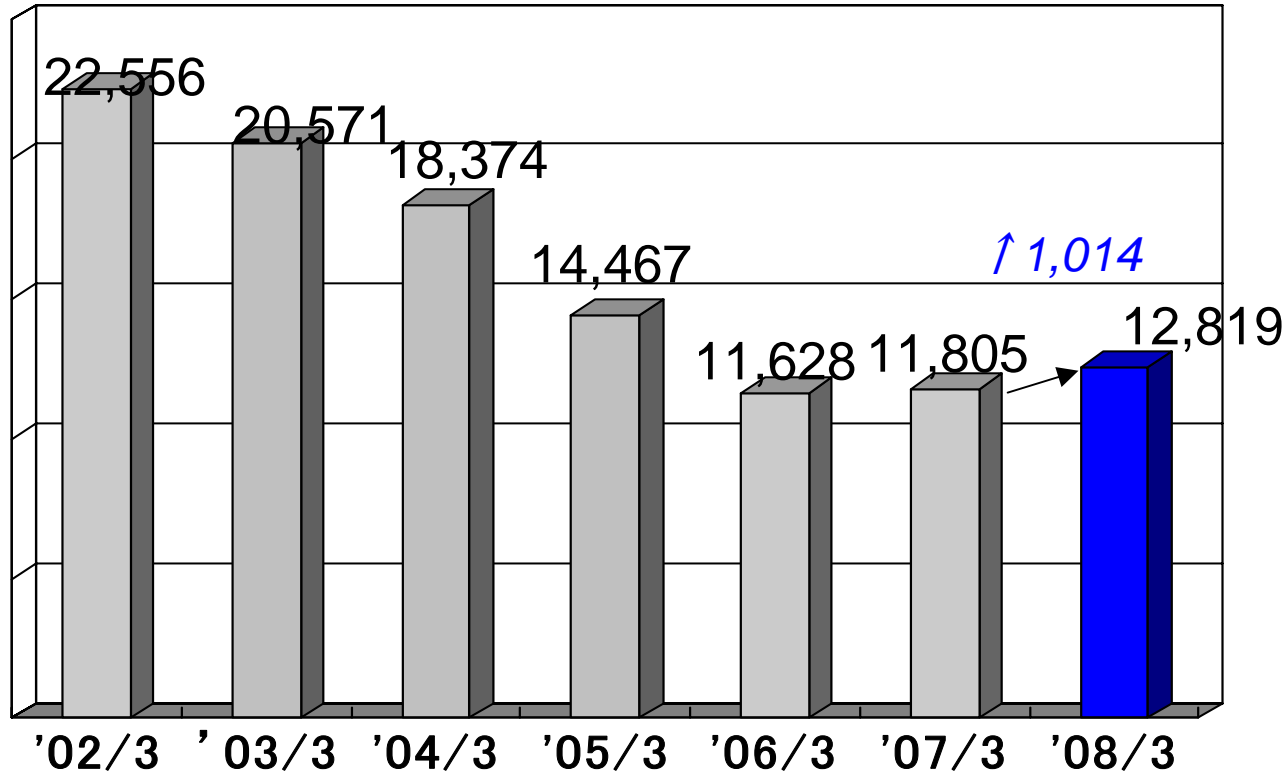
JFE

08/3借入金・社債残高

(単位:億円)

経常利益	5,029
減価償却費	2,204
設備投資(支払ベース)	▲2,221
自己株取得	▲1,412
税金・配当 他	▲4,614

借入金増加 1,014





JFE

【参考】主な財務関連データ推移

	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度
【主要財務指標】					
ROS	8.8%	16.4%	16.7%	15.8%	14.2%
ROE	15.9%	18.7%	28.6%	21.3%	17.5%
ROA	6.5%	13.1%	14.6%	14.1%	13.0%
D/Eレシオ	246.2%	149.4%	88.7%	78.6%	85.7%
D/Eレシオ※					61.4%
【一株当たり情報】					
当期純利益(円)	185.84	273.97	555.02	513.58	450.58
配当金(円)	30	45	100	120	120

※08/3に発行したハイブリッド債 3000億円のうち、75%相当(Moody'sの評価)を資本カウントした数値



JFEグループ

2008年度 連結業績見通し

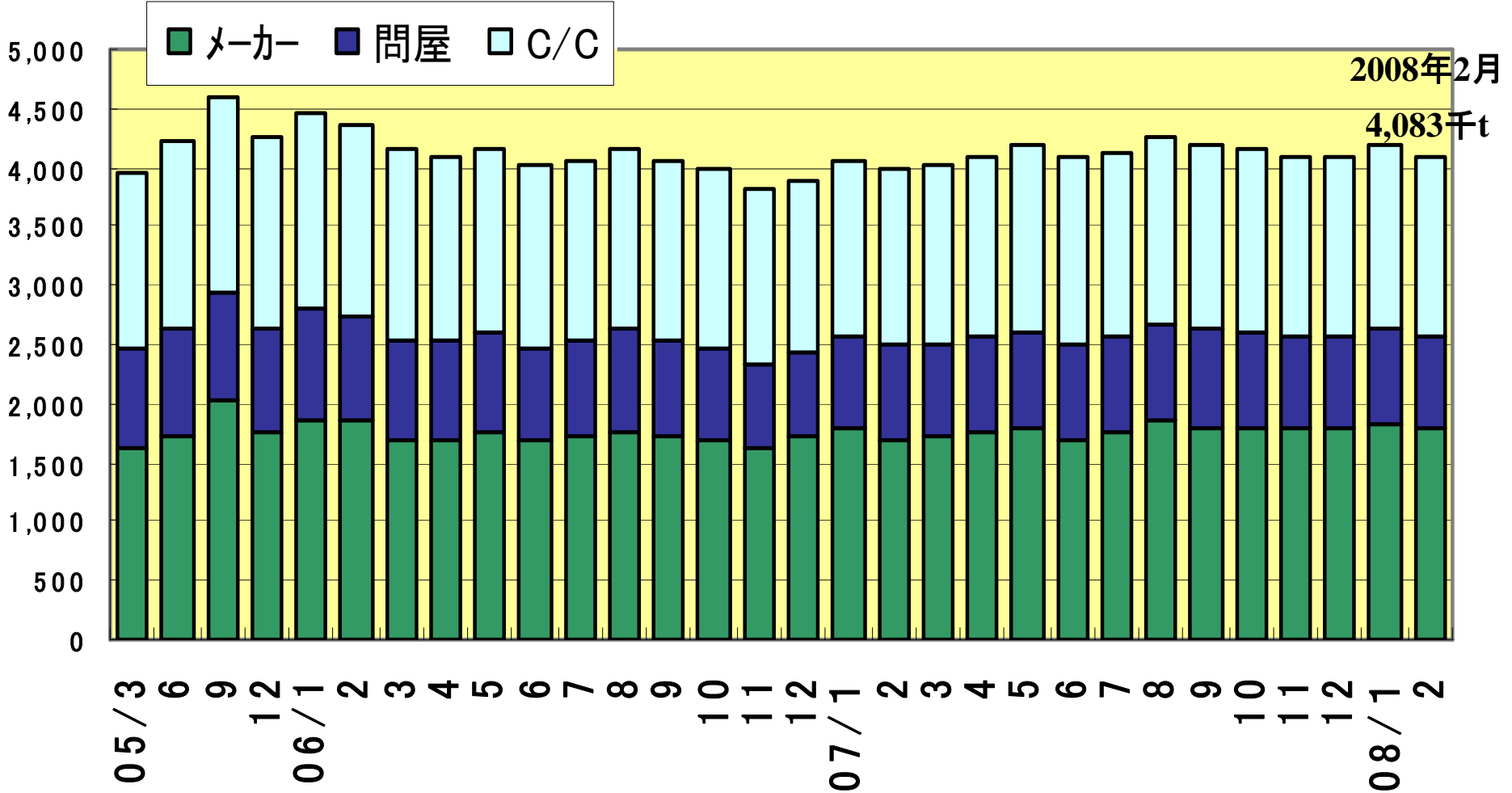
2008年度 鉄鋼事業環境について



国内販売環境

JFE
(千トン)

薄板3品在庫





JFE

国内販売環境

自動車生産台数

(万台)

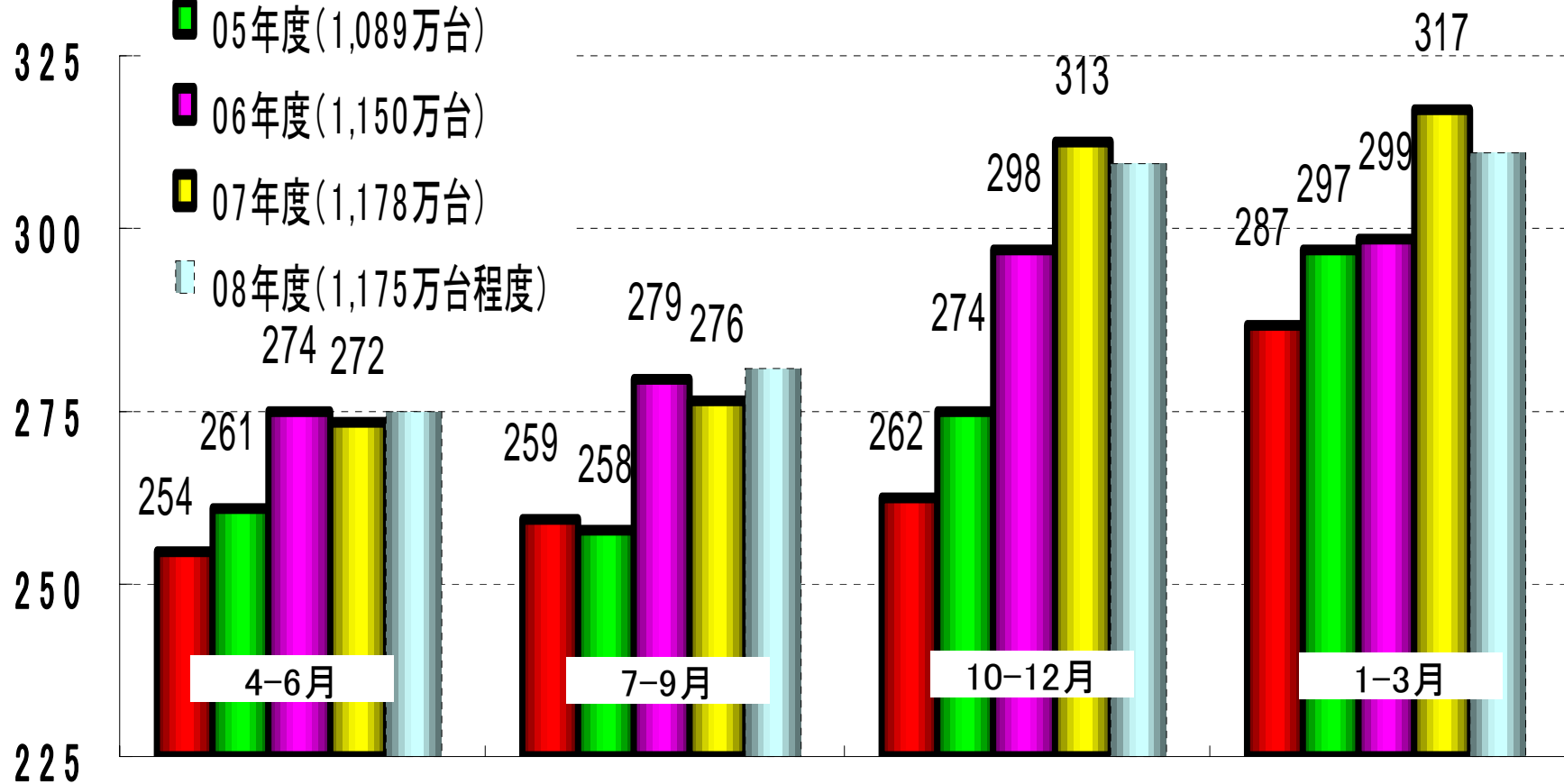
04年度(1,062万台)

05年度(1,089万台)

06年度(1,150万台)

07年度(1,178万台)

08年度(1,175万台程度)



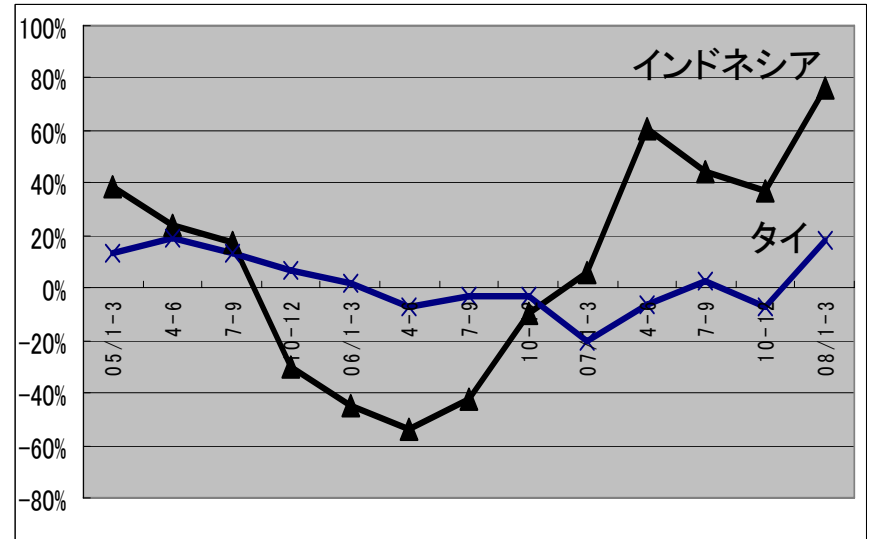
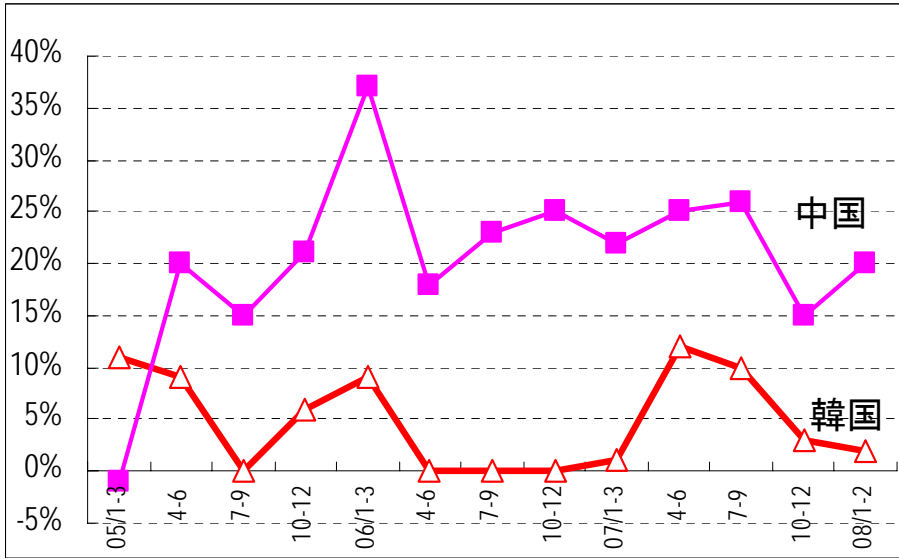
(08年度はJFE推定)



■自動車販売：各国堅調に推移。

主要国自動車販売

(前年同期比)



※韓国は輸出版売も含む

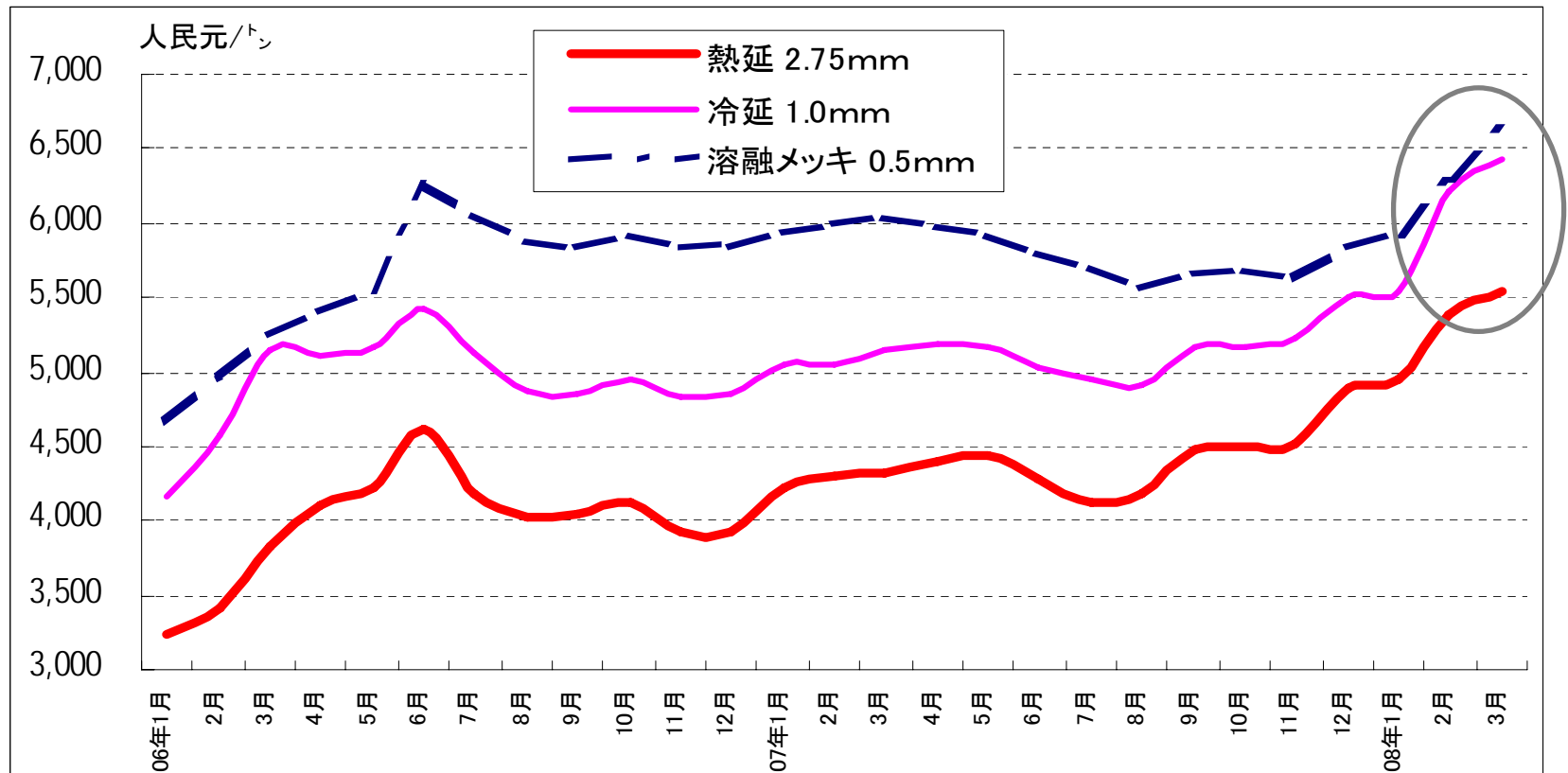
(単位:万台)

	05年	06年		07年			08年1-2月	
		前年比	前年比	前年比	前年比	前年比		
中国	576	721	+145 +25%	879	+158 +22%	152	+45 +20%	
韓国	372	380	+8 +2%	407	+27 +7%	63	+2 +4%	
タイ	70	68	▲2 ▲3%	63	▲5 ▲8%	9	+1 +18%	
インドネシア	53	32	▲21 ▲40%	43	+11 +36%	9	+4 +76%	



■ 需要堅調、及び原燃料価格の上昇を受けて、市況は上昇。

◆ 中国薄板市況推移

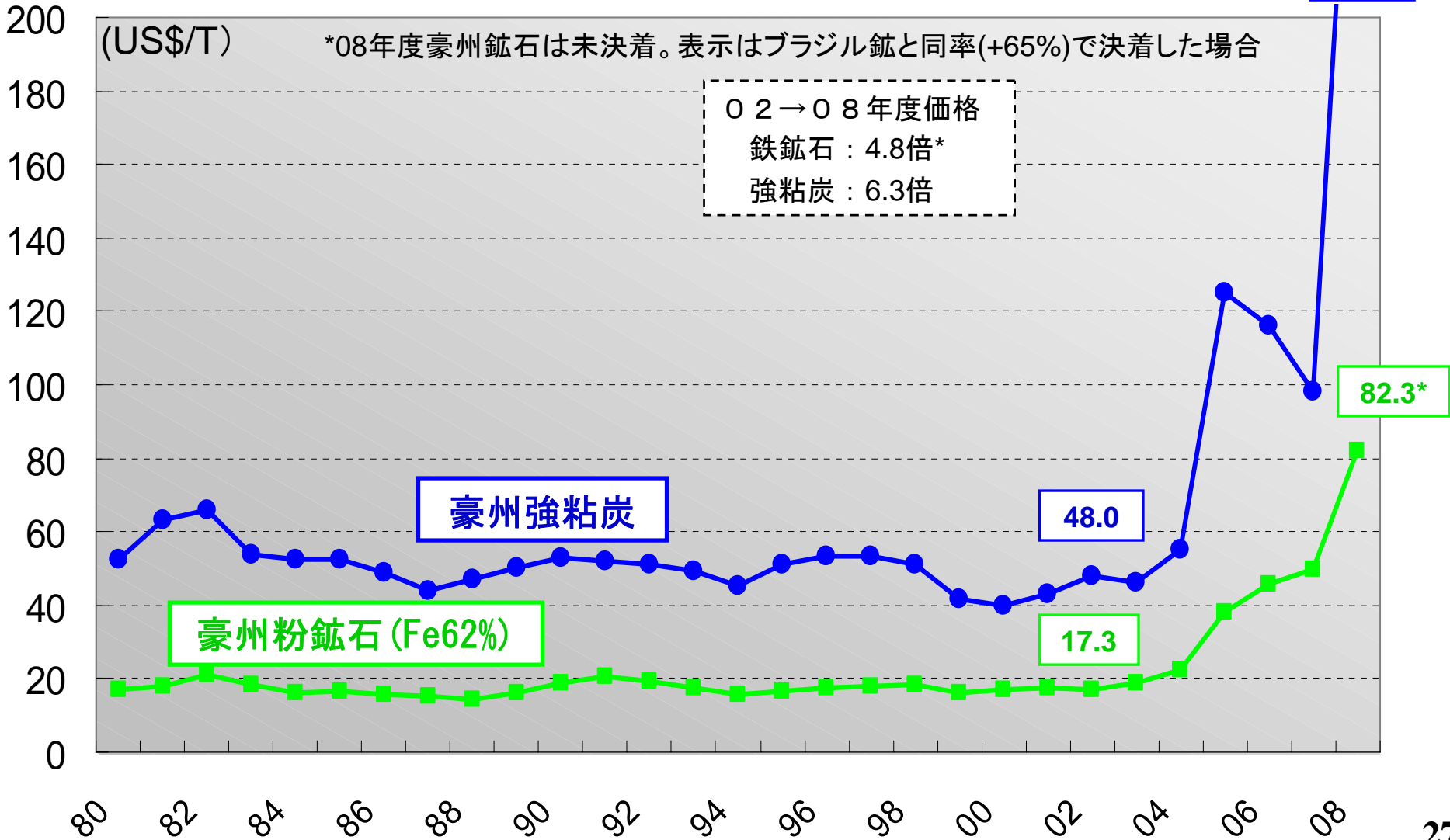


出所:中国物資価格情報 増値税含む
全国18地区鋼材市場の平均値



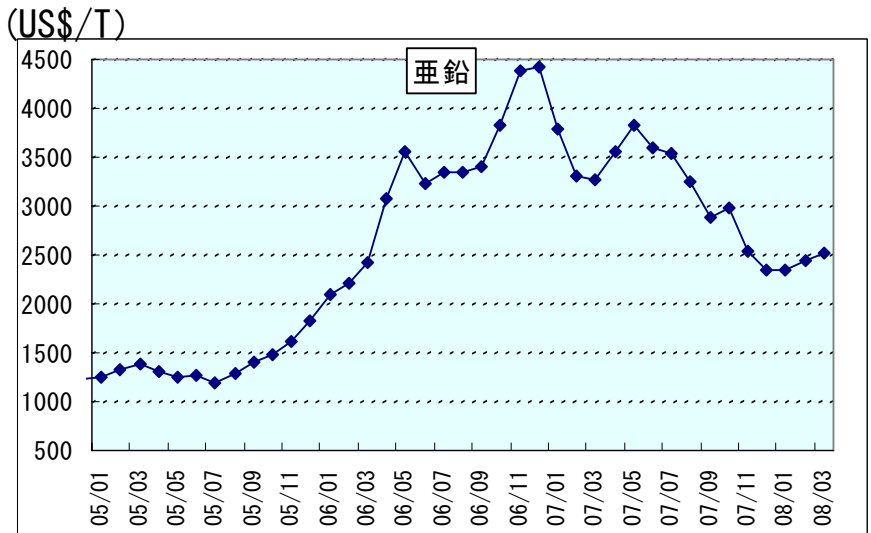
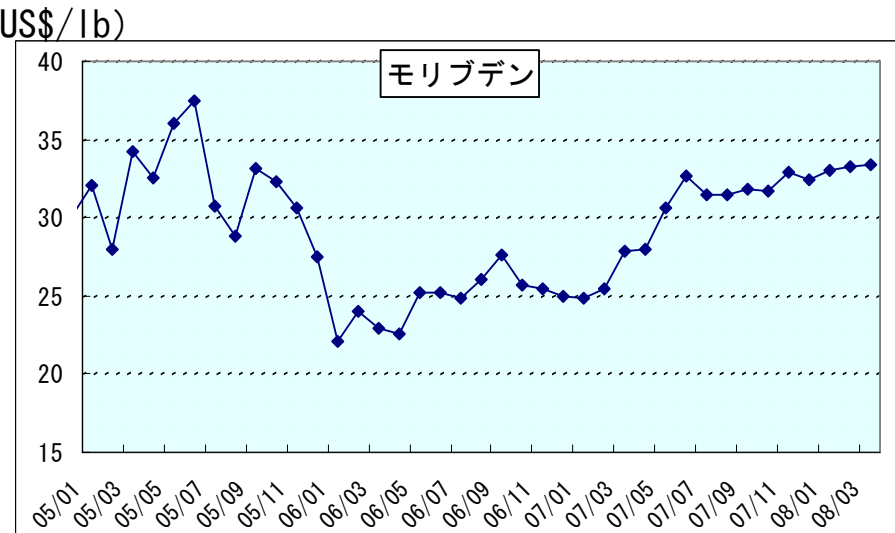
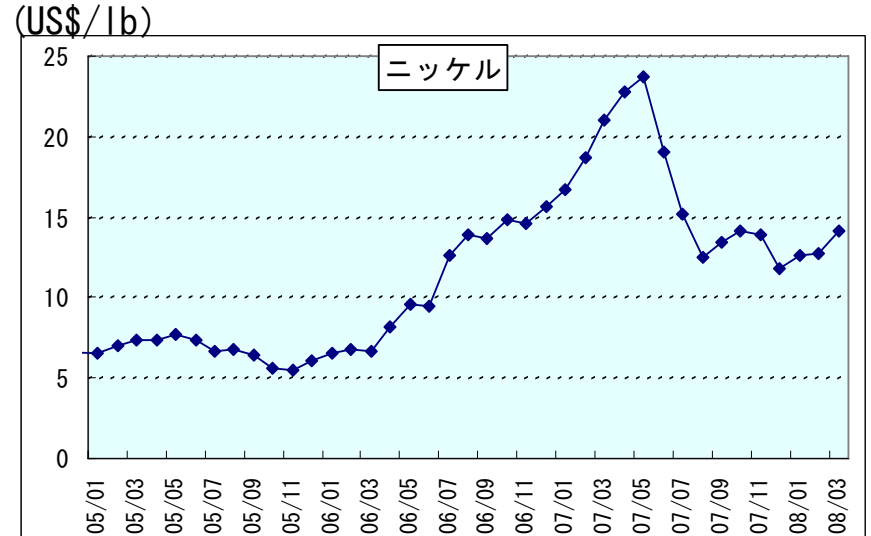
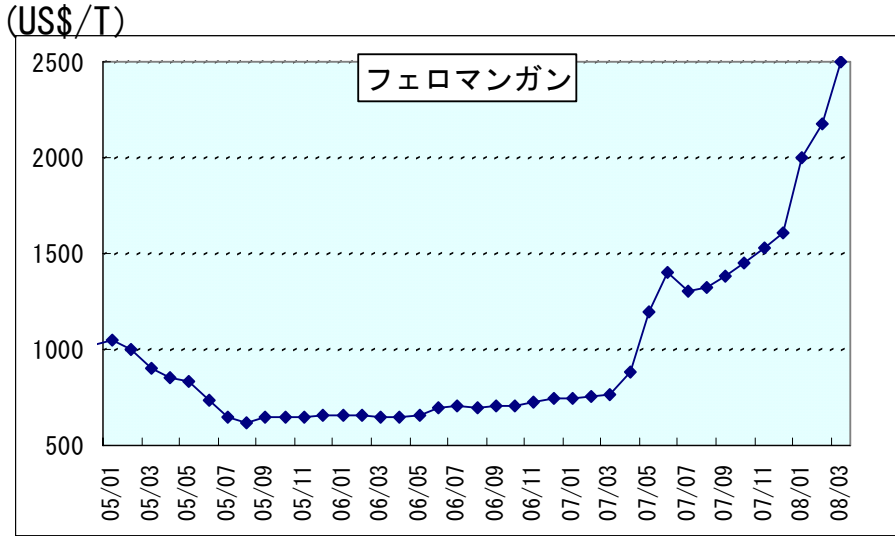
JFE

主原料価格推移(年度価格)





金属類価格推移

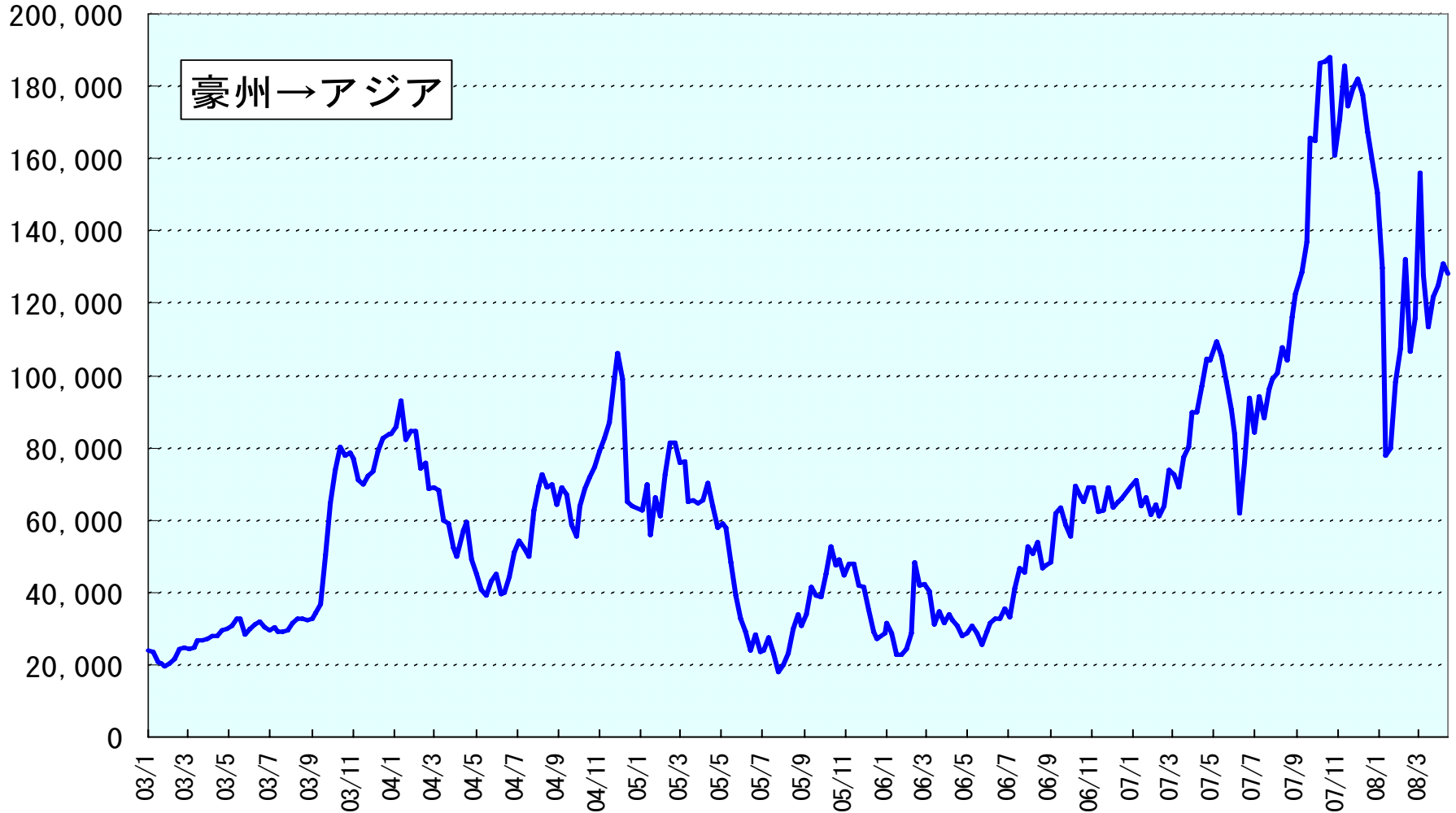




JFE

スポット傭船料推移

(\$/日)



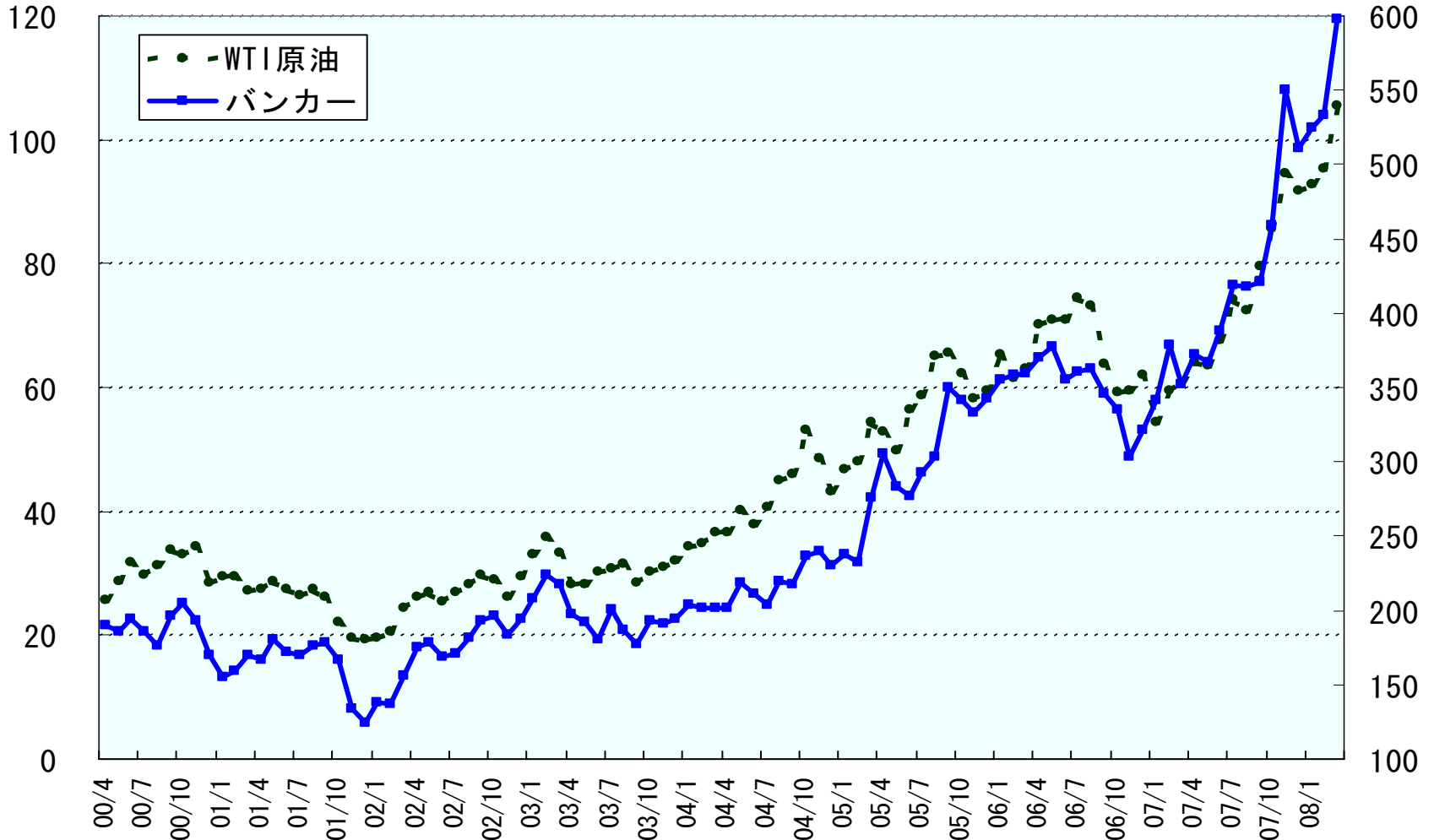


JFE

原料市況 (原油・バンカー価格推移)

(原油 : \$/bbl)

(バンカー : \$/T)





JFE

2008年度 連結業績見通し

- 鉄鋼事業は、世界規模での極めて旺盛な鉄鋼需要を背景として、原材料価格につきまして、過去に例を見ない大幅な上昇が見込まれております。
- コスト削減等の自助努力に取り組んでいくものの、顧客に対して鋼材価格の大幅な改定をお願いせざるを得ない状況です。
- 現時点では鋼材価格改定の交渉中ということもあり、合理的な業績予想の算定ができないことから、業績予想につき記載しておりません。
- 業績予想開示が可能となった時点で速やかに開示予定。
- 具体的な開示時期としては、第1四半期の決算発表時(本年7月の予定)となる見込み。

第3次中期経営計画に向けて

I .スチール

II .エンジニアリング

III .造船

IV .総括



JFE

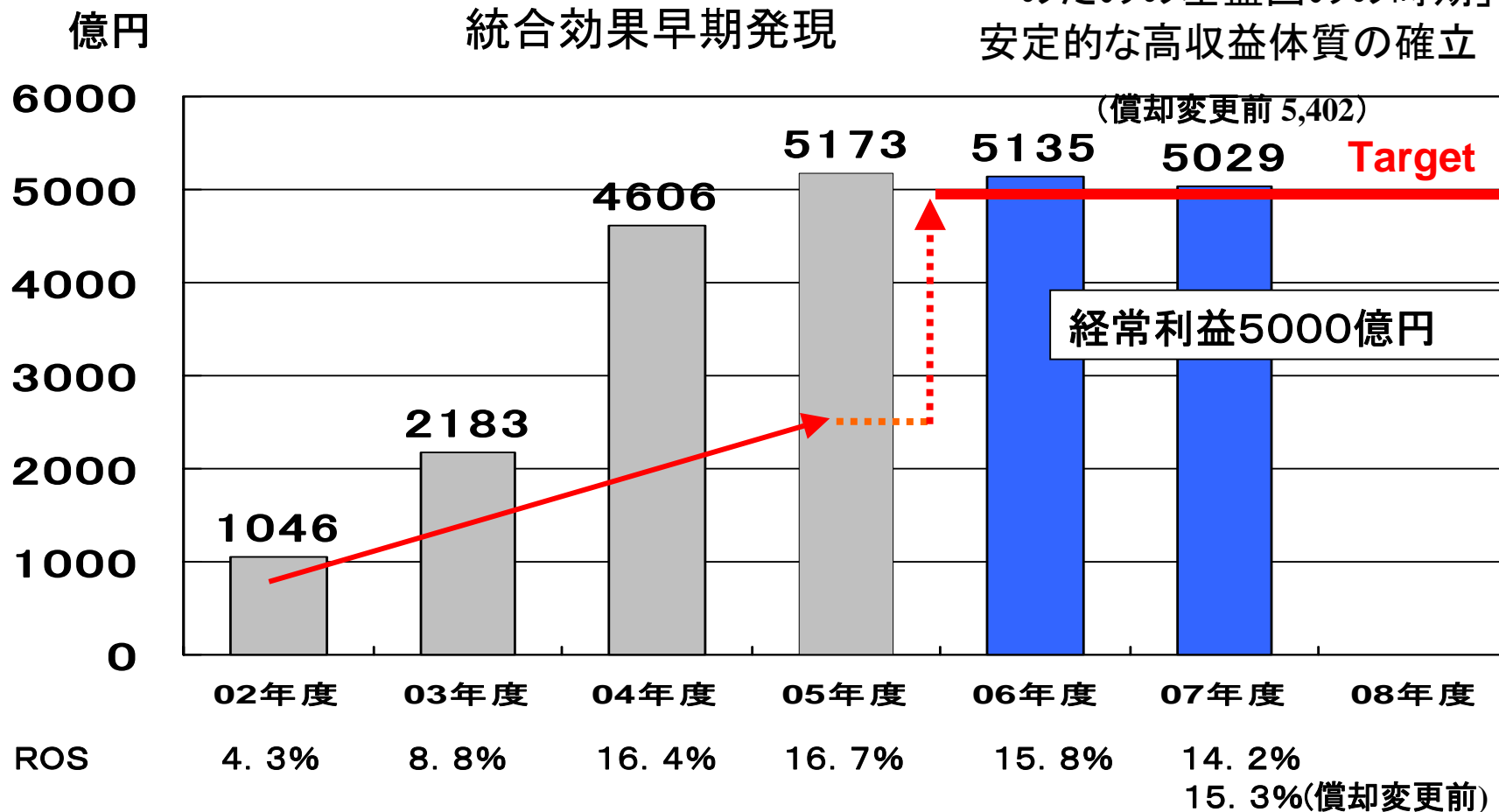
JFEグループ°中期経営方針及び経常利益推移

第一次中期

経営統合の完遂
統合効果早期発現

第二次中期

「世界的視野での成長・飛躍
のための基盤固めの時期」
安定的な高収益体質の確立





I .JFEスチール ～中期経営方針～

JFE

(1次中期) 経営統合の完遂、統合効果早期発現

FY2003～2005

(2次中期) 高付加価値商品サプライヤーとしての基盤固め

FY2006～2008



【3次中期(FY2009～2011)に向けて】

当社の技術優位性を活かし、拡大する高級鋼需要を捕捉

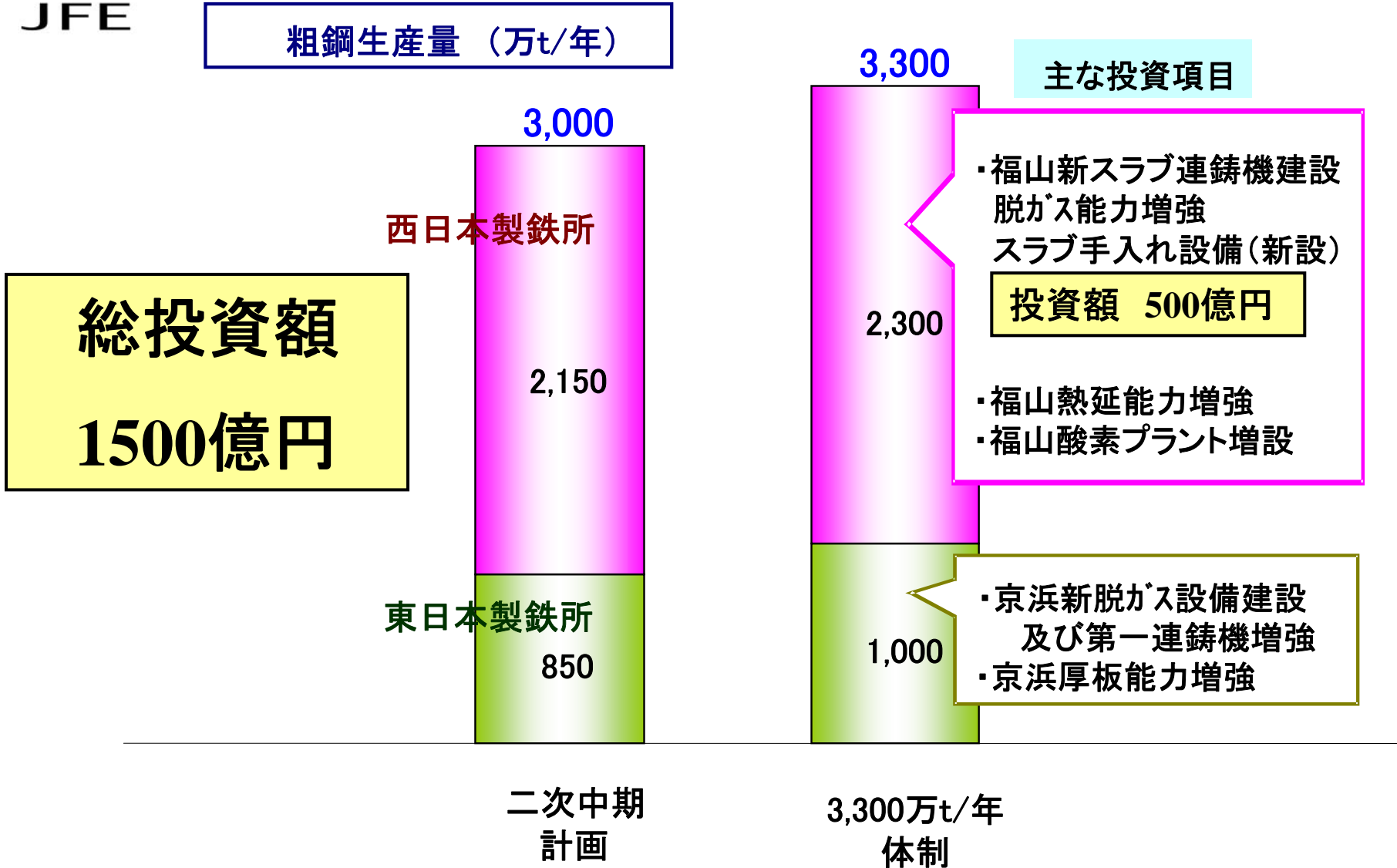
- ◇ 高級鋼マーケットの成長に応じた規模拡大(国内3,300万トン)
- ◇ アジアを中心とする垂直分業体制の強化と顧客の現地調達化への更なる対応(中国・冷延/CGL拡大、タイCGL検討等)
- ◇ 将来の粗鋼生産拡大のため海外における一貫製鉄の事業性検討(ブラジル、東南アジア)



JFE

(参考) 国内生産体制増強 (スチール単独3300万t)

粗鋼生産量 (万t/年)

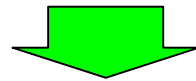


◆ 次期中期計画では、福山地区・京浜地区を中心に能力増強を計画。 35

(参考) 海外における一貫製鉄の事業性検討

既存の提携関係、垂直分業を維持拡大しつつ、
海外における一貫製鉄事業を検討中

- ・顧客製造拠点の現地化シフトに対応した垂直分業の拡大
⇒ 高成長市場(BRICs他)において新たな粗鋼生産拠点を確保
- ・高級鋼生産比率を高めつつ、グループ粗鋼生産能力を拡大
- ・CO2問題を始めとする国内増産コスト増への対応



東南アジアおよびブラジル一貫製鉄事業を検討中

- ・複数の東南アジア地域において一貫製鉄所建設を検討中
(その一つとして、タイ政府に対しタイでの投資計画を提示)
- ・**ブラジル・セアラ州における製鉄所建設FS実施**

(参考) ブラジルにおける製鉄所建設FS実施

- ・場所 ブラジル・セアラ州ペセン地区（東国製鋼/バーレPJ予定地）
- ・規模 500～600万t/年
- ・生產品種 スラブ
- ・供給先 北南米・アジア向け（CSI・東国製鋼・他）





JFE

Ⅱ.JFEエンジニアリング

JFEエンジニアリングの収益回復への取り組み

(2007年度)

工事損失引当や、特定事業に係る将来損失の一括引き当て等、将来に向けた財務体質の健全化を推進。

(今後の主要施策)

- 事業の選択と集中の加速
国内はもとより国際的にも高まりを見せている環境エネルギー分野でのエンジニアリング事業および環境リサイクル事業へ経営資源をシフト
- 当社のポテンシャルを最大限に発揮できる案件に注力
- グループ会社の外部向け事業拡大
- 技術開発による新商品・事業の創出

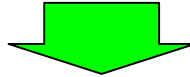
連結経常利益100億円を確保できる事業構造を早急に構築。



Ⅲ.造船

JFE

- ◆ 未曾有の好況状態にある造船業界と、韓国・中国の能力急拡大
- ◆ 日本の造船業界は、業界再編を前提に生き残りをはかる必要
⇒ 好況のうちに再編実施し、将来に備える戦略が不可欠
- ◆ JFEスチールにとって、造船業は大きな鋼材需要部門であるばかりでなく、協力して最先端の素材、加工技術を創造するなど、商品・技術開発力向上の面からも非常に重要な産業部門。



健全で競争力ある国内造船業の発展は、鉄鋼事業にとっても大きな意義有り。

【対応方針】

第1ステップ **ユニバーサル造船を子会社化(85%保有)** 08/3 実施済み

第2ステップ **IHIマリンユナイテッドとの統合検討開始**

統合、およびその後の合理化を通じて、日本におけるNO1造船会社としての位置づけを磐石なものとする。

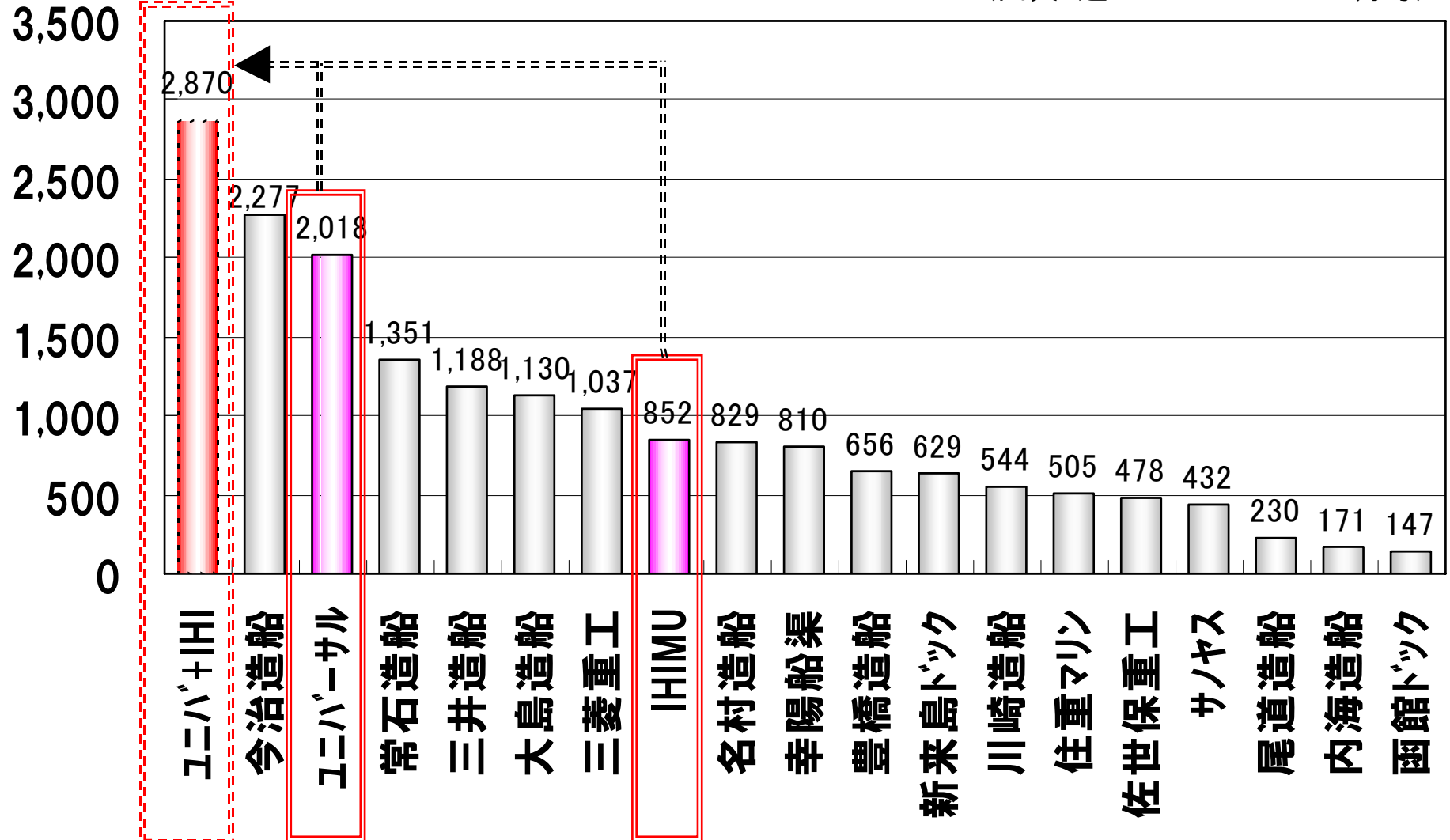


(参考)造船各社の竣工量(2007年度)

JFE

千総トン

(出典:造工ニュース 2008.2月号)



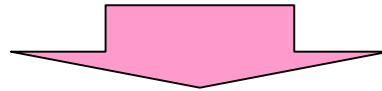


JFE

IV.総括 ～第三次中期に向けての施策～

【事業環境認識】

- 鉄鋼事業:環境のダイナミックな変化
 - ・アジアの高級鋼需要拡大
 - ・資源価格高騰への対応
- その他事業:調達コスト上昇と競争の激化



【経営・事業方針】

更なる利益成長と株主価値の増大に向けた、
成長投資の前倒し検討・実施

- ・国内外での生産体制増強・整備
- ・人材の確保・育成



IV.総括 ～財務施策～

JFE

第二次中期計画(以下「中計」)に対して、

・当期利益(中計 8000億円)増加分	280億円(06-07実績)+ α (08年度分)	
・減価償却費(中計 5800億円)増加分	800億円(06-08)	
・CB転換	1,000億円	
・ハイブリッド債調達	2,250億円(資本分)	※1

以上の資金/資本を主たる源泉として、下記項目を実施。

・積極的な自社株取得	3,600億円	※2
・設備投資(中計 6100億円)の先行実施	900億円	

※1 ハイブリッド債の発行(08年3月17日発行 3,000億円)

「財務の健全性を維持・向上」しつつ、「成長投資を支えるリスク許容度の高い資金」並びに「事業環境のダイナミックな変化(資源急騰・販売価格水準の大幅な引上げ)に対応した安定資金」を前倒しで確保

※2 自己株取得の実施(06年度 1,200億円、07年度 1,412億円、08年度予定 988億円)

株主価値増大、資本効率の向上を意図した積極的かつ継続的な株主還元の実施



JFE

以上